

2. 指標設定

成果指標	指標名	特色ある基礎牛の造成		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			H27 安全・安心で高品質な畜産物の産地として信頼される基盤づくり			
活動指標	指標	a	但馬牛保有率	b	SCD遺伝子検査	c	乳用牛生産乳量	d
	数値	目標	30%	目標	440頭	目標	800kg	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
特色ある基礎牛の造成		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 但馬牛保有率		21.8 %	22.0 %	23.5 %
		72.7 %	77.3 %	78.3 %
b SCD遺伝子検査		—	440 頭	440 頭
			100.0 %	100.0 %
c 乳用牛生産乳量		6,999 kg	7,390 kg	7,259 kg
		87.4 %	92.4 %	90.7 %
d				

4. 課題と対応

課題
近年の景気低迷により価格は下落傾向にあることから経営状況は非常に厳しく改良速度が思ったより進まない
対応（改善点等）
農家の基礎牛の調査を行い能力の低いものは淘汰し改良速度を速める。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

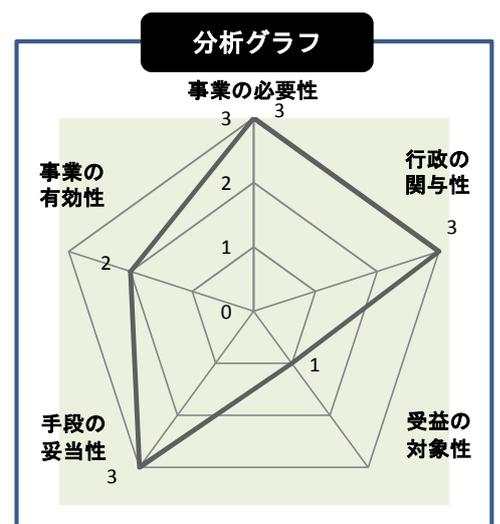
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		10,998	24,260	16,169	20,521
うち経常		10,998	17,100	12,800	17,350
財源内訳	国費				
	県費		776	1,725	1,125
	市債				
	その他				
	一般財源	10,998	23,484	14,444	19,396
うち経常		10,998	17,100	12,800	17,350
事業費に係る人件費		7,253	7,183	7,998	6,011

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
3年間継続事業として推進している

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 現在景気の低迷により畜産物の価格に大きな変動が起きていることから、早急な対応が必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 改良は、常に時代を担うもので、市・JAが中心となって推進していく。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 本事業は乳・肉用牛農家の所得向上を目指すものである。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 短期間での事業の取組が必要なことから目的達成のために必要。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 景気低迷により経営状況は非常に厳しく改良速度思ったより進まない。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき事業の推進を図ること